

ふくい街角景気速報

(令和4年3月分)

調査期間 令和4年3月10日～24日 (回答率：90%)

概況

景気の現状判断DIは43.6となり、前月と比べ10.3ポイント上昇した。

景気の先行き判断DIは46.1となり、前月と比べ0.8ポイント低下した。

■景気の現状判断DI 43.6 (前月比 +10.3)

○家計動向関連では、前月に比べ 16.5 ポイント上昇した。

○企業動向関連では、前月に比べ 3.4 ポイント上昇した。

○雇用関連では、前月に比べ 4.5 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○コロナ感染拡大の収束が見え、ワクチン接種も進み、旅行需要が少しづつ戻りつつあるため。(観光関係)

○半導体不足や世界的なコロナ感染状況に加えて、ウクライナでの武力衝突による世界的な輸送遅延や原材料費高騰等の影響は大きい。(化学・プラスチック関連)

■景気の先行き判断DI 46.1 (前月比 ▲0.8)

○家計動向関連では、前月に比べ 0.6 ポイント低下した。

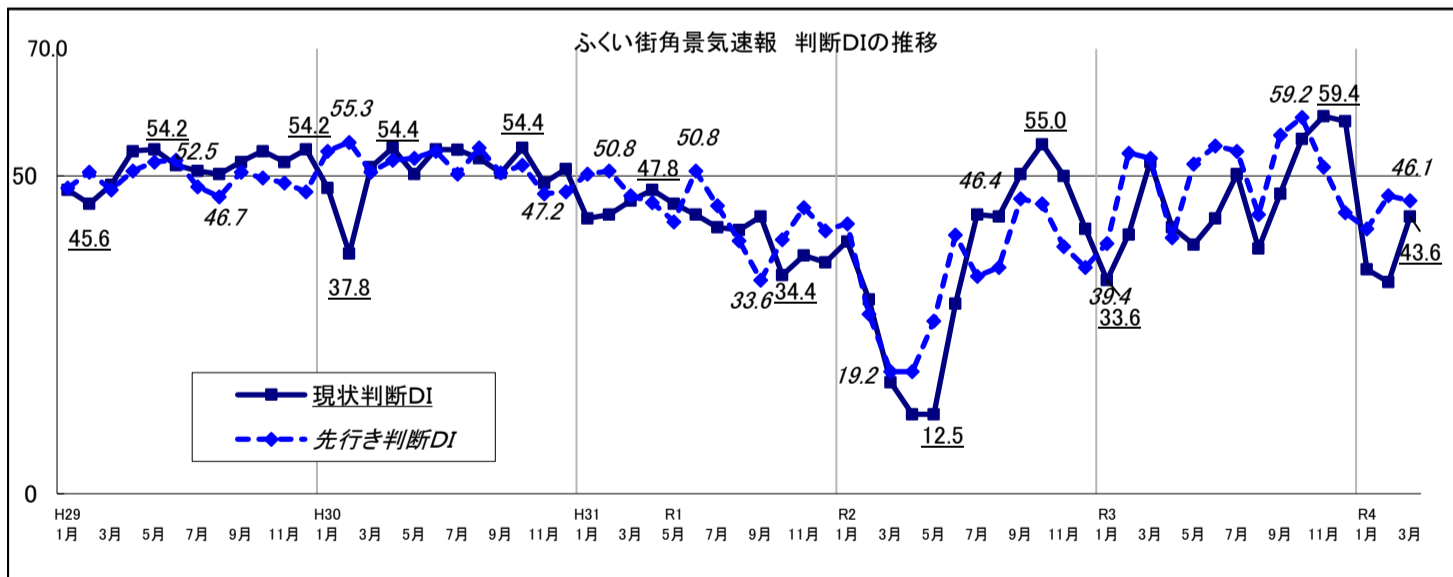
○企業動向関連では、前月に比べ 1.8 ポイント低下した。

○雇用関連では、前月に比べ 2.3 ポイント上昇した。

(意見の主な内容)

○5月の連休は商品の動きが良くなると思うが、その連休で人の流動があり、その後は、今の様な状態になる繰り返したと思う。(観光物産関係)

○国内では蔓延防止も解除になり景気が好転する見込みもあるが、ここに来て価格高騰や不安定な海外情勢もあり、まだまだ先行きは不透明なため。(繊維関連)



<目次>

調査の概要	1 P
1. 景気の現状判断DI	2 P
2. 景気の先行き判断DI	2 P
3. 判断理由	(1) 景気の現状判断の理由 3 P
	(2) 景気の先行き判断の理由 4 P
4. 参考	(1) 調査対象の構成 5 P
	(2) 調査票 6 P

調査の概要

1. 調査の目的

県内景気の動向や各業種の状況をより迅速に把握し、景気判断の基礎資料とする。

2. 調査の実施概要

(1) 調査の範囲

県内を福井地区、坂井地区、奥越地区、丹南地区、嶺南地区の5地区に分け、各地区で働くさまざまな業種の方、100名を調査客体とする。

地域別・分野別の客体数

地区	対象地域	調査客体数			
		合計	家計動向	企業動向	雇用情勢
福井	福井市	48	26	17	5
坂井	坂井市、あわら市	11	7	3	1
奥越	大野市、勝山市	8	6	2	0
丹南	鯖江市、越前市とその周辺部	13	2	9	2
嶺南	敦賀市、小浜市とその周辺部	20	11	5	4
計		100	52	36	12

(2) 調査事項

- ① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由
- ② 2～3か月後の景気の先行き判断とその理由

(3) 調査期日等

毎月中旬～下旬に調査実施し、月末～翌月初旬に公表。

3. DI値の算出方法

5段階の判断にそれぞれ以下の点数を与え、これらに各判断の構成比(%)を乗じて、DI値を算出する。

評価	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

4. DI値について

DI値が50の場合は横ばいを示し、0に近づくほど悪化傾向、100に近づくほど好転傾向であることを示す。

0 ← 50 → 100
 悪くなっている 変わらない 良くなっている

1. 景気の現状判断DI

○県全体の現状判断DI

(DI)	年 月	R3 10	11	12	R4 1	2	3	(前月差)
合計		55.8	59.4	58.6	35.3	33.3	43.6	+10.3
家計動向関連		51.1	61.0	57.1	26.1	25.5	42.0	+16.5
小売		47.7	56.9	56.5	28.9	28.1	39.5	+11.4
飲食		62.5	62.5	58.3	12.5	12.5	58.3	+45.8
サービス		59.1	70.8	58.3	20.8	20.8	45.0	+24.2
企業動向関連		58.3	55.0	56.1	44.9	40.2	43.6	+3.4
製造業		58.3	57.0	56.3	45.2	38.0	40.4	+2.4
非製造業		58.3	50.0	55.6	43.8	46.9	52.8	+5.9
雇用関連		68.2	66.7	72.7	45.0	45.5	50.0	+4.5

○回答別構成比

	年 月	R3 10	11	12	R4 1	2	3	(前月差)
良くなっている		5.6%	10.0%	8.9%	3.3%	2.2%	1.1%	▲1.1
やや良くなっている		34.4%	35.6%	33.3%	7.8%	4.4%	18.9%	+14.5
変わらない		41.1%	41.1%	43.3%	35.6%	37.8%	44.4%	+6.6
やや悪くなっている		15.6%	8.9%	12.2%	33.3%	35.6%	24.4%	▲11.2
悪くなっている		3.3%	4.4%	2.2%	20.0%	20.0%	11.1%	▲8.9

2. 景気の先行き判断DI

○県全体の先行き判断DI

(DI)	年 月	R3 10	11	12	R4 1	2	3	(前月差)
合計		59.2	51.4	44.2	41.7	46.9	46.1	▲0.8
家計動向関連		59.2	50.0	42.4	44.0	48.9	48.3	▲0.6
小売		55.3	48.3	40.3	41.4	47.7	46.8	▲0.9
飲食		75.0	37.5	33.3	25.0	37.5	33.3	▲4.2
サービス		68.2	56.3	50.0	54.2	54.2	57.5	+3.3
企業動向関連		56.1	52.1	45.5	36.8	43.2	41.4	▲1.8
製造業		54.2	52.0	43.8	37.5	43.0	43.3	+0.3
非製造業		61.1	52.5	50.0	34.4	43.8	36.1	▲7.7
雇用関連		68.2	54.2	47.7	47.5	50.0	52.3	+2.3

○回答別構成比

	年 月	R3 10	11	12	R4 1	2	3	(前月差)
良くなる		6.7%	1.1%	0.0%	1.1%	3.3%	2.2%	▲1.1
やや良くなる		42.2%	33.3%	14.4%	12.2%	18.9%	25.6%	+6.7
変わらない		36.7%	41.1%	54.4%	48.9%	47.8%	37.8%	▲10.0
やや悪くなる		10.0%	18.9%	24.4%	27.8%	22.2%	23.3%	+1.1
悪くなる		4.4%	5.6%	6.7%	10.0%	7.8%	11.1%	+3.3

3. 判断理由

(1) 景気の現状判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
②やや良くなっている	家計動向	福井	スーパー	オミクロン株の感染拡大により内食需要が増加している。
		福井	商店街	コロナも落ち着き、県外来福も増えて来て、少し上昇傾向にある。
		福井	一般小売店	コロナ感染が減少傾向になり、春需要が復活して客足が増えている。
		福井	観光関係	コロナ感染拡大の収束が見え、ワクチン接種も進み、旅行需要が少しづつ戻りつつあるため。
	企業動向	福井	建設・不動産関連	コロナ第6波が下火になるとともに、顧客の動きが出始めた。
	雇用	福井	就職情報誌	コロナ感染者数ピーク時よりは広告出稿が増えてきた。お得キャンペーンなどの告知が徐々に増えてきた。
③変わらない	家計動向	福井	百貨店、SC等	都心部ではまん防が解除されたなど感染者減傾向があるが、福井はまだまだ状況が変わっていない。
		福井	一般小売店	3ヶ月前～当月まで、ずっと来店数が昨年を下回っている。客単価は少し高めにあるが、微増であり、厳しい状況が続いている。
		坂井	スーパー	コロナはピークアウトに向かっているものの、来店客数や売上に特段の変化は見られない。
		嶺南	コンビニエンスストア	週末のお客様の動向が未だ鈍い。
		福井	観光関係	県内の感染状況もピークを越えた感があり、人の流れが少しずつ回復している感じがするものの、少人数での利用や宿泊も個人利用に限られており、良くなっているとは言えない状況である。
	企業動向	坂井	繊維関連	商品の動きも出て来て良かった部分もあるが、ウクライナの状況、中国、香港でのオミクロン株に関する制限等での影響もあり、どちらももいえない状況。
		福井	一般機械関連	建設機械部品製造業としての景気は、2020年8月頃までは新型コロナウイルス感染拡大の影響があり受注が減少していたが、2020年9月以降の受注は回復傾向にあり、11月以降は対前年2割増まで回復し、その後継続している。
		丹南	電気機械関連	受注は減少しているが受注残は高水準であり、今後の顧客要求に応えるために在庫積み増しの必要があり、フル稼働を続けている。
		福井	化学・プラスチック関連	半導体不足や世界的なコロナ感染状況に加えて、ウクライナでの武力衝突による世界的な輸送遅延や原材料費高騰等に影響は大きく、引き続き厳しい状況が続く。
		丹南	食料品製造関連	新型コロナの影響で、観光部門の売り上げがコロナ前の60%で推移しており完全な回復が見込めない。量販店等の売り上げも頭打ちであり利益減となっている。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	県内でも感染が高止まりしている状況で、外出をいまだ控える傾向が続いている。また半導体などの材料不足や、戦争の影響もあり、企業の設備投資計画などの情報も聞こえてこない。
		嶺南	ジョブカフェ担当者	雇用情勢としては、嶺南地域の新規求人は全体的に減の状況。未経験でも応募可能な求人は少し増えているが、求職者には変わらず手が少ない。
④やや悪くなっている	家計動向	嶺南	飲食関連	ガソリンなどの値上がりの影響と、まん防が解除されてもまだ自主的自粛の方が多く、地元の方の客足が戻ったとはいえないため。
		福井	サービス業関連	東北の地震、ウクライナとロシアの紛争等が相まって新車の生産が更に遅れていることから、お客様の買い控えが目立ったため。
	企業動向	福井	眼鏡関連	3月上旬の福井県内コロナ感染者増加傾向が続いた期間での来店者数が減少したため。
		丹南	眼鏡関連	コロナ禍が続くなか、材料費が高騰し経営に大きく影響している。
		嶺南	化学・プラスチック関連	原油・為替の影響が出ているため。
		福井	銀行等金融関連	オミクロン株による感染拡大や県の感染拡大特別警報の延長もあり、個人向けサービスを中心に業況を悪化させた。またウクライナ情勢や金融情勢が原油高等の輸入物価上昇を助長し、家計や様々な業種に影響が生じている。
⑤悪くなっている	家計動向	嶺南	商店街	福井県内では独自の拡大警報などが続いており人の動きは鈍い。また全国的な宣言は解除になったものの、引き続き卒業式や花見などは控えるようにとの報道で人出は良くならない。
		嶺南	一般小売店	コロナウィルスの感染者増加で来店客が減ったと思われる。また例年に比べ雪が多く寒いせいも、春物の動きが鈍い。
	企業動向	福井	商社	原油価格の高騰による石油製品の値上がりも、福井県内のコロナ感染の蔓延による人の移動の減少。

(2) 景気の先行き判断の理由

現状	分野	地区	業種	理由
①良くなる	家計動向	福井	コンビニエンスストア	もう一息でコロナも落ち着かずであり、反動消費は大いに期待できる。
②やや良くなる	家計動向	坂井	一般小売店	3回目ワクチン接種者も増えていき、人の動きもよくなると思う。
		坂井	観光関係	現在は県内の感染者数も減少傾向に入り、3回目のワクチン接種も進みつつある。GOTOトラベルや県内割の拡充などにより徐々に回復していくと思われる。
	企業動向	丹南	建設・不動産関連	例年、春からの需要が伸びてくるので、この調子であれば良くなってくると考えられる。
		嶺南	商社	感染状況を見ながら、経済活動を拓げる方向に期待している。
	雇用	丹南	自治体労働政策担当課	第6波のオミクロン株の感染も落ち着き、また新年度予算で各自治体が景気対策を打ち出すことが想定されるため、地域経済が好転すると期待している。
		嶺南	労働相談員	近々嶺南において、大勢が集まる事業が再開されており、コロナ慣れしてきた感がある。3回目のワクチン接種も終わり、一番被害を被っている飲食業界についても大幅に緩和されるのではないかと考える。
③変わらない	家計動向	丹南	商店街	冬から春への季節の変わり目で通常ならば陽気が良くなり消費は大きくなる時期だが、コロナ感染数の動向を見ると下がりきっておらず、第7波が予測されるという報道をみると、また諸外国のような厳しい状況が続く可能性があるから。
		福井	一般小売店	3回目のワクチン接種が進めば感染者数が落ち着き、外出する機会が増え、消費が上向くと期待している。
		坂井	観光物産関係	5月の連休は商品の動きが良くなると思うが、その連休で人の流動があり、その後は、今の様な状態になる繰返しだと思ふ。
		福井	サービス業関連	ウクライナとロシアの紛争の長期化による広範囲な影響が考えられるため。
	企業動向	坂井	繊維関連	国内では蔓延防止も解除になり景気が好転する見込みもあるが、ここに来て価格高騰や不安定な海外情勢もあり、まだまだ先行きは不透明なため。
		福井	一般機械関連	年内は順調に推移すると推測される。ただし、東欧での戦争、原油高による物価の更なる上昇、部材不足やコンテナ不足での船便逼迫など不安定要素が複数あるので、先行きが不透明なところはある。
		丹南	電気機械関連	半導体不足の長期化やコロナウィルスの感染状況等、先行きが不透明なため。
		福井	化学・プラスチック関連	ウクライナ問題は長期化の恐れあり、この影響で食品からエネルギーに至るまで物価上昇が予想される。また、コロナの収束もなかなか見込めない中で、当面、個人消費は本格的に回復しないと思われる。
	雇用	嶺南	学校就職担当者	ロシアのウクライナ侵攻が不透明で、やや悪くなる可能性もあるが、コロナの規制緩和で業界によっては、少し上向くかもしれない。
		福井	ジョブカフェ担当者	雇用調整助成金の特例措置が延長されている6月末までは労働市場の硬直化が危惧されるが、福井県内においても、有効求人倍率は当面高い水準にあると判断したため。
④やや悪くなる	家計動向	福井	家電販売店	新生活需要や法人の予算消化による一時的な回復なので、再度状態は戻ると思われる。
		嶺南	飲食関連	ウクライナ情勢もあり、今後のガソリンや、小麦などの輸入品への悪影響が出てきそうな気がする。
	企業動向	丹南	電気機械関連	電子部品不足による景気悪化のため。
		嶺南	化学・プラスチック関連	さらに原油価格が値上がりすると思われるため。
		丹南	食料品製造関連	売上の増が見込めず、人手不足の影響にて人件費の増、仕入れ、包装費、電気料、その他資材の値上げなどにより利益減となっている。
		福井	銀行等金融関連	多くの地域で適用されていた「まん延防止等重点措置」が解除され個人消費の回復や企業活動の活発化が期待される。一方で、ウクライナ情勢の悪化や金融情勢を受けて、原材料価格の一層の高騰が懸念される。
⑤悪くなる	家計動向	丹南	百貨店、SC等	新型コロナのオミクロン株による第6波やロシアのウクライナ侵攻、更に原油価格の高騰や物価の上昇に東北の震災など、景気が悪くなる要素が数多くある。
	企業動向	福井	商社	ウクライナ問題からの終焉はむかえると思うが、ロシア制裁からの物資の減とコロナウイルスへの対策不足からの経済の悪化。更に円安で追い打ちがかかる。
	雇用	丹南	労働相談員	今後原油高や資源高が長く続くので景気は落ち込むだろう。

4. 参 考

(1) 調査対象の構成

調査対象		人数
家計動向関連		52
商店街、小売店		
	商店街関係者	5
	小売店経営者・従業員	7
百貨店、SC等		
	店長・売場主任	10
スーパー		
	店長・従業員	5
家電販売店		
	経営者・店長・従業員	2
コンビニエンスストア		
	店長	2
ドライブイン等		
	経営者・スタッフ	3
飲食関連		
	レストラン等経営者・店長・スタッフ	4
	居酒屋等経営者・店長・スタッフ	2
その他サービス関連		
	サービス業経営者・従業員	4
観光関係		
	旅館関係者	2
	ビジネスホテル関係者	2
	観光・レジャー施設関係者	1
	旅行代理店経営者・従業員等	2
	タクシー運転手	1
企業動向関連		36
製造業経営者・従業員		
	繊維工業	4
	眼鏡工業	3
	一般機械工業	3
	電気機械工業	3
	化学・プラスチック工業	3
	鉄鋼業	2
	伝統工芸	2
	商社	2
	食料品製造業	2
	その他製造関連	2
非製造業経営者・従業員		
	IT関連	2
	金融機関	2
	建設・不動産	3
	運輸	3
雇用関連		12
	自治体労働政策担当課	2
	労働相談員	2
	学校就職担当者	3
	ジョブカフェ担当者	2
	人材派遣会社	1
	就職情報誌編集者	2
計		100

4. 参 考

(2) 調査票

あなたの日々の仕事や仕事を通じて接するお客様の様子から分かる、あなたの身の回りの景気の状態についてご回答ください。

(企業・団体名および記入者氏名)

【質問1】

景気が上向きか下向きか、どちらの方向に向かっているかの質問です。
今月のあなたの身の回りの景気は、3か月前と比べて良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなっている ②やや良くなっている ③変わらない
④やや悪くなっている ⑤悪くなっている

【質問2】

質問1でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

【質問3】

将来の景気についての質問です。今後2～3か月先のあなたの身の回りの景気は、今月より良くなると思いますか、悪くなると思いますか。
次の5つの中から、お選びください。

- ①良くなる ②やや良くなる ③変わらない ④やや悪くなる ⑤悪くなる

【質問4】

質問3でそのように回答した理由を教えてください。

自由回答（あなたの仕事に関してコメントをお願いします。）

本書の内容についての質問は、下記にお問い合わせください。

福井市大手3丁目17-1

福井県産業労働部産業政策課経済戦略グループ

TEL 0776-20-0364 (ダイヤルイン)